

平成23年度 太田中学校の学校評価について報告します

	評価項目	評価(段階)	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	信頼される学校に関すること (開かれた学校, 教職員の資質向上等)	3. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標, めざす生徒像については, 今年度の内容を踏襲して進めていくが, 生徒や教員が努力目標を意識できる機会をつくる。 ・ 来年度, 月曜日は5時間授業, 部活動中止として, 職員会議や学年団部会を設定する。また, 水曜日は6時間授業になるが, これまで通り総務委員会を行う。 ・ 行事については, 授業時間数確保のため, 精選する。 ・ 25年度の南ブロック研究大会は, 各教科に公開授業を行うこととし, 各教科で「思考力・判断力・表現力の育成」・「言語活動の充実」を図るよう実践を深めていく。 ・ 若年研は, 計画通り実施できた。多くの先生方に話してもらったことがよかった。 ・ 個人懇談会は, 1回目を7月に変更する方向で協議する。2回目以降は今年度と同じ。(10月と3月(希望者)) ・ 学校HPの部活動だよりを更新したが, 今後も少なくとも年2回は更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 信頼される学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営面が充実していることが素晴らしい。 ・ 地域との連携については, 難しい面もあるが, 互いに協力して進めていきたい。 ○ 確かな学力と主体的な学びを生む場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観してみると, どの学年も落ち着いた授業が行われていた。発表している生徒も多い。 ・ 全体的に落ち着いているものの, 意欲があまり態度や言葉に表れず, 消極的で, おとなしい感じがする。 ・ 3年生の授業に関する理解度の数値が高い。楽しい学習がよくできている。 ・ 掲示環境は, 大変素晴らしい。
2	確かな学力と主体的な学びを生む場の実現に関すること	3. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領の実施に伴い, 改めて3年間を見通して計画を作成する必要がある。小中連携を十分にいき, 内容の精選を図る。また, 学校行事や学級活動との関連をしっかりと考える。 ・ 総合的な学習の時間の時間数は削減されるが, 様々な人との交流をしながら, 学びを深めていくことは大切である。職場体験学習は2日間, 地域交流学習は半日にするなど内容や活動を精選していく。職場体験の報告など活動のまとめを他学年や保護者に向けて発表する機会をもつようにする。 ・ 1, 2年の進路指導の充実を図るために, 3年団の進路関係資料を1, 2年にも配布する。 ・ 教室内や校内掲示板は毎回工夫がされて美しい。見るのが楽しみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域から見ていると, 生徒数は多いが, 道徳性はきちんと身に付いているように感じる。 ○ 生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ まじめで素直だが, 積極性に欠ける。 ・ 交通面の評価が低いことが気がかりである。
3	少人数指導(少人数学級)に関すること	/	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数授業にした方が多くの生徒の授業理解につながる。 < 保護者評価 2.8 > 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 万引きなどが低年齢化している。小さい頃からの指導が大切である。
4	道徳教育の充実に関すること	3. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間指導計画を総合的な学習の時間と関連付けて改編し, 週1時間の道徳の時間, 「道徳の日」の取組を充実させる。 ・ 教材の開発は時間的に難しいので, 持っている資料を共有し合って活用する。(資料の整理) また, 研究集録や資料(副読本等)の紹介をして, 活用を図る。 	

5	時代の変化に対応した教育に関すること			○ 健康・安全教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育の取り組みについて、校内だけでなく校外の場合の指導も必要である。 ・ 防災非難訓練は日頃から必要である。 ・ 管理職が不在でもリーダーシップをとれる体制を整えておかなければならない。
6	学校図書館教育に関すること	3. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も、図書の貸出冊数が 7000 冊となる。 ・ 図書館指導員が掲示物・読書くじなどの工夫を凝らしてくれるため、図書室の利用者が増えている。 ・ 静かに落ち着いて朝読書ができています。 	
7	自己指導能力を育てる生徒指導に関すること	3. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究大会に向けて、グループエンカウンター、学級会等の時間をとり、話し合い活動等を活発にする。 ・ 生徒の主体的な活動を進めるために、さらに生徒会活動を活性化。強調委員会の活動がやや下火になってきている。 ・ 生徒に関する情報交換については、できていた。 ・ 「各月の生活目標を学校生活の中に生かすこと」については、学級委員長会と連携して、月ごとに掲示していく。 ・ 研究大会に向けて、授業規律の徹底等の準備を進めなければならない。 	
8	人権教育に関すること	3. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年はともに人権劇に取り組み、学年ごとの人権集会は行われているが、「学級目標→学年共有→人権集会」等の流れを作ることで、人権劇等が単発にならないのではないか。 ・ 小中連携をもっと行う必要がある。 	
9	健康・安全教育に関すること	3. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談室へ登校できる生徒も多くなっている。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の協力により、相談活動も充実してきている。 ・ 来年度は自転車教室（交通安全教室）を実施したい。 ・ 折に触れて防災意識を高めるために、生徒に話をしていく必要がある。系統だった訓練を計画し、その都度、避難訓練の指導の重点ポイントを事前にしっかり生徒にも伝えておく。 ・ 落ち着いた給食の時間が送れている。給食についての放送は、食育の推進を促したり、知らなかった食材などの知識が増えたりして、たいへんためになっている。生徒もよく聞いている。 	
10	特別支援教育に関すること	3. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育検討委員会は年4回実施して、生徒の実態、指導の状況等を話し合うことができています。しかし、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒も多く、今後も継続して協議していく必要がある。 ・ 小中の連携、保護者とのつながりを今後も大切にして、生徒の支援をしなければならない。 	
11	その他（特色ある教育など）	3. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正門付近、駐車場では基本的に活動を禁止する。（練習メニューによってグラウンド調整を工夫する。） ・ 朝練習、延長練習は職員室のホワイトボードで確認する。 	